

## いわき地域環境科学会会報



# ふいーるど

**FIELD No.135**

### < 目 次 >

#### 【報告】

- ★ 令和元年度 第1回幹事会..... 1
- ★ 令和元年度 年次総会・講演会..... 2
- ★ 大畑海岸海食崖観察会..... 2
- ★ NPO法人いわき環境研究室 ..... 4

#### 【事務局から】

- ★ 令和元年度4月～6月事務局連絡会議報告 & 事務局連絡会議への参加のお誘い..... 7
- ★ 会員の動きから..... 8

### 【報告】 令和元年度 第1回幹事会 開催報告

令和元年5月19日(日)15時から、いわき市労働福祉会館会議室(2)において、令和元年度第1回幹事会が開催されました。当日は、役員および事務局員12名が出席しました。

原田正光副会長の進行で開会し、諸橋健一会長の挨拶の後、吉田真弓幹事の議事進行により、定期総会を前に平成30年度事業ならびに会計決算報告、令和元年度事業案ならびに予算案および規約の一部(事務局の住所)改訂の審議が行われ、出席者からご意見をいただきました。

### 【報告】 令和元年度 年次総会・懇親会 実施報告

令和元年5月25日(土)14時から、いわき市生涯学習プラザ大会議室(2)において、令和元年度年次総会が開催されました。当日の出席者は21名でした。

和田佳代子副会長の進行で開会し、諸橋健一会長の挨拶の後、平川英人副会長の議事進行により、平成30年度事業ならびに会計決算報告が事務局からなされ、令和元年度事業案ならびに予算案および規約の一部(事務局の住所)改訂の審議が行われ、承認されました。



平成 30 年度の事業においては、30 周年記念事業として実施された「記念本」発行、「記念講演会」の開催、「環境科学遺産」の選定、「記念植樹」などのほか、定例となっている「子供環境研究発表会」、「いわき子ども環境賞コンクール」、「発表会」などの事業も 30 周年記念事業の一環として実施されたことが報告されました。令和元年度の事業としては、従来からの事業をはじめ、「環境講座」として昨年度選定された「環境科学遺産」の見学会も企画されていることや、今年度も継続して「環境科学遺産」を会員から募ることなどが提案され、承認されました。



総会に引き続き、福島大学農学群食農学類教授の大瀬健嗣先生に、「放射線の基礎知識と食品中の放射能」という演題でご講演をいただきました。参加者は 23 名でした。講演においては、福島第一原発の事故以降の様々な食物の放射線量の状況について、豊富な実例を挙げて解説をしていただきました。また、会場には放射線濃度の測定器や霧箱も用意され、実演を見ることができるコーナーも設けられました。なお、この講演会は福島県環境測定・放射能計測協会による「食と放射能に関する説明会」として開催されました。講演会の実施にあたり、当会の維持会員でもある常磐開発株式会社の方々に大変お世話になりました。



## 【報告】

## 大畑海岸海食崖観察会

去る 6 月 2 日（日）小名浜港南の八崎から西へと広がる泉町下川大畑地内に位置する大畑海岸の海食崖の観察会が行われました。

昨年当会の 30 周年記念事業で募集したいわきの環境科学遺産に選定されたものを巡る環境講座の第 1 回として計画されたものです。

当日は曇天ながらほどよい気温で講師の富田明雄さんを囲み 10 人の参加者がありました。集合場所の



サンマリーナ駐車場は、釣りや磯遊びの人の車が多くありました。海食崖は八崎の東の石油埠頭と工業団地から西側に北西から南西方向へ続いています。

10時に観察会は始まりました。まず始めに八崎にある断層を観察しました。ここには1800万年前中新統の亀ノ尾層が西側の400万年前と新しい鮮新統の照島層と接しているのがよくわかります。断層面は西に60度傾斜しているとのことです。この照島層は有孔虫・珪藻化石・放散虫化石等から水深500m位の大陸棚から大陸斜面に堆積したものと考えられるそうです。

八崎の突端には流紋岩質の溶岩が海底で爆発・冷却された灰色で緻密な石英と浮石質の結晶に加え泥岩の角礫を含む火山礫凝灰岩（ラビリタフ）があり、この岩石が大畑海岸の基底部をなすとのことです。

船溜まりの堤防跡では、海側に火山礫凝灰岩の露出が見られました。

さらに西に歩きサンマリーナへ下る道路の下には、凝灰質砂岩の上に凝灰質礫岩の大きな礫を含む地層が堆積しているのが見られましたが、これはチャンネル堆積物と言い、地滑り崩壊したものが谷沿いに堆積したものだそうです。

大畑海岸西部は高いところで40m程の崖で凝灰質礫岩の上に白色の砂岩とシルト岩の互層が板状に重なり、その上に斜交層理が顕著な白色の砂質シルト岩があり、更に白色の砂岩・シルト岩の互層がのり、最上部に礫を挟んだ白色シルト岩が観察できました。

今回の観察で現在みえているものは、その昔水の中でその深さが異なる海底で礫が、また砂がそして水深が深いときにはシルトが堆積し、それが水によってまたは地滑りによって削られたものであることがわかりました。



◇◇◇NPO 法人いわき環境研究室からの報告◇◇◇

(令和元年5月1日～6月30日)

◆6月18日(火)、福島高専専攻科多目的教室において本年度第1回目の理事会を開催しました(7名出席)。平成30年度活動報告及び決算報告があり、原案どおり承認されました。続いて令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について説明があり、活発な議論を行いました。特に、平成30年度の事業内容では、本研究室の環境教育支援に使用する資料、教材、分析器具を改良するため、毎月1回程度の勉強会を実施したことで、支援活動の改善が図られたことより、引き続き実施することになりました。今年度も環境改善に係る講演会を開催する方針を決め、具体的な内容を検討することになりました。令和元年度の収入の多くを占める助成金及び寄付金が既に確定されたことで、活動推進が容易になりました。そのため、令和2年度の収入を確実にするため、今年9月～10月に募集される助成金の申請、獲得を目指すことになりました。



◆引き続き、同場所で、総会を実施しました。出席者は9名(他、委任状6名)でした。基本的には理事会で議論された議案が提案され、原案どおり承認されました。また、役員改選も行われ、現体制を維持することになりました。



主な活動計画は下記の通りです。

(1) 地域環境についての調査研究及び政策提言事業として、当会独自の調査活動を実施することを決めました。今年度も9月14日(土)に、30人乗りバスをチャーターし、南相馬地区を対象にした自然エネルギー先進地視察を実施することにしました。

尚、近日中に参加者を募集します。

(2) 地域環境についての教育事業として、いわき自然エネルギー研究会は各地域の設備維持管理組織との連携を進め、併せて、小学校・高校での学習支援を進める。今年度は新たに、田人小学校を支援することにしました。

(3) 地域環境を改善するための諸活動事業として、昨年に引き続き、下小川地区、赤沼地区での農村水環境学支援、夏休み自由研究教室、子どもアイネットフェア、パルスシステム福島「環境展示

会」への参加、福島県環境創造センター「ふくしま環境フォーラム」への参加を決めました。現在、夏休み自由研究教室の参加者を募集していますが、昨年参加者からのレポートも多く、参加者増になりそうです。

(4) 昨年に引き続き、自然環境に係る講演会の開催を決めました。テーマ、講師については、他団体との共催などを含め検討します。具体的には、プラスチックによる環境汚染などが話題になりました。

## ◆小学校における「水環境学習」支援

### ○三和小学校の川の学習支援

三和公民館の「学校・家庭・地域パートナーシップ推進事業」と三和小の「三和ふるさと教育」の連携事業の一環として取り組まれ、三和小6年生を対象に実施され、夏井川流域 NW と共に、当 NPO も学習支援に当たりました。全部で3回の予定ですが6月末までに2回実施されました。

○第1回目(5月28日)～好間川水源地(雨降山)の視察。

○第2回目(6月4日)～好間川での「フィールド学習」、学校前の好間川に入り、生き物調査を行い、後半は、学校に戻り好間川の水質調べ(上流、中流、下流の3地点)にも挑戦し、好間川の水環境を肌で体験する講座内容となりました。

### ○夏井小学校5年生(19名)

6月21日(金)10:20~12:00、本年度第一回目となる「水環境」に関する支援講座(夏井川流域の会主体)が、開催され、当 NPO は、実験等の支援に当たりました。

先ず、PPを使った講義や流域模型を使い、参加児童が夏井川流域の中のどのような位置で生活しているか、また「水と毎日の生活との係わり」について考えてもらいました。講義の後には、学校近くを流れる「愛谷江筋」の水質分析(COD、透視度、導電率、におい)やみそ汁が混入した場合の水質の悪化についても実験的に確かめました。



○平第4小での自然エネルギー学習支援（1回目）

6月22日、平4小6年生3クラス、72名を対象に自然エネルギー支援講座を開催しました。最初に、福島高専山本敏和先生より、「再生エネルギーについて考えよう！」の講義を行いました。概要はエネルギー問題のお話、再生エネルギーのお話でした。50年位昔は、電気やガスを使う洗濯機、扇風機、エアコン、コンロ、自動車などを使わないで生活のため、エネルギーをあまり使わなかった。しかし、最近は生活が便利になり、大量のエネルギーを消費している。電気は化石燃料や原子力で作ってきたが資源に限りがある。一方、再生エネルギーは無尽蔵にあり、地球温暖化の原因となる炭酸ガスの排出が少ないなどを学びました。その後、エネルギーに関する機器や教材（太陽電池、風力発電、水力発電、電磁誘導と手回し発電、ペルチェ素子による発電）による体験をしました。昨年と比べ、支援者が教材や説明方法を工夫し、分かりやすい内容になっていました。特に、今回初めて登場したレゴを組立て、光や風で動くおもちゃを作るコーナーでは子ども達が夢中で取り組んでいました。体験講座後、再び全員が一堂に集まり、今回の講座に対するアンケート用紙に記入してもらいました。最後にクラス毎に児童から講座に対する感想を述べてもらいました。



再生可能エネルギーの講義をする山本先生



誘導電流の仕組みを体験する子ども達



モーターの仕組みを体験する子ども達



水力発電を体験する子ども達



太陽光発電を体験する子ども達



風のエネルギーを体験する子ども達



エネルギー体験用レゴを組み立てる子ども達



アンケートに記入する子ども達



クラス毎に講座の感想を述べる子ども達

## 【事務局から】令和元年度 5月～6月 事務局連絡会議報告 & 事務局連絡会議への参加のお誘い

会の活動の活性化に向けて、事務局連絡会議の内容のダイジェスト版を会員の皆様にお伝えしています。今回は、5月と6月の事務局会議の内容です。

### ○5月事務局連絡会議

日時：令和元年5月7日（火）18：30～20：00

会場：福島高専専攻科棟1階 多目的講義室、出席者：7名

議事内容：

#### ・報告事項

- (1) 事務局関係（会員の動向、ホームページの更新状況・アクセス状況）
- (2) 事業・プロジェクト関係（4月の会の活動）
- (3) 編集委員会関係（会報「ふいーど」134号発行報告）
- (4) 会員個人の活動状況（講演の報告）
- (5) 関連団体の活動状況（いわきの森に親しむ会、日本野鳥の会いわき支部から）

#### ・協議事項

- (1) 第1回幹事会・総会・懇親会の準備（役割分担、資料の確認）
- (2) EQUAL 32号の編集について（進捗状況の確認）
- (3) 環境講座について
- (4) ワーキンググループの立ち上げ申請について

○6月事務局連絡会議

日時：令和元年6月3日（月）18：30～19：40

会場：福島高専専攻科棟1階 多目的講義室、出席者：8名

議事内容：

・報告事項

- (1) 事務局関係（会員の動向，ホームページの更新状況・アクセス状況）
- (2) 事業・プロジェクト関係（5月（一部6月）の会の活動）
  - ① 第1回幹事会開催報告
  - ② 定期総会・講演会開催報告
  - ③ 環境講座「大畑海岸海食崖見学会」実施報告
- (3) 編集委員会関係
  - （会誌「EQUAL」32号発行報告，正誤表配布依頼について，総会欠席者への配布の確認）
- (4) 関連団体の活動状況（いわき環境研究室，いわき鳴き砂を守る会，夏井川流域の会から）
- (5) いわき子ども環境賞コンクールの共催・後援承認通知の受領報告

・協議事項

- (1) 会報「ふいーど」135号の編集（記事の内容，発行スケジュールの確認）
- (2) EQUAL 32号・総会資料・会費請求書等の発送作業について
- (3) 会の活性化へ向けて（EQUALの発送先の拡大など）

\* いわき地域環境科学会事務局では，原則毎月第1月曜日の18時30分から20時50分（それよりも早く終わることもあります）に福島高専にて事務局連絡会議を開催しています。会の活動の状況を詳しく知ることもできますし，各自が考えていることを会の活動に反映させることも可能です。事務局連絡会議に関心のある方・一度出席してみようという方は，事務局担当の山田までご一報ください。

次回（8月）の事務局連絡会議は 8月5日（月）を予定しております。皆様のご参加をお待ちしております。

〈事務局担当〉福島高専電気電子システム工学科

山田 貴浩

電話：0246-46-0800 FAX：0246-46-0807(学科共用)

電子メール：[yamada@fukushima-nct.ac.jp](mailto:yamada@fukushima-nct.ac.jp)

【会員の動きから】

一当会の会員がそれぞれの分野で活躍しています。

**2019. 7.1.                      No.135**  
 発行：いわき地域環境科学会  
 福島工業高等専門学校  
 〒970-8034  
 いわき市平上荒川字長尾30  
 TEL. 0246 (46) 0837  
 FAX. 0246 (46) 0843  
 E-mail : [mail@essid.org](mailto:mail@essid.org)

該当会員	時期・場所	主催所管	内 容
平川英人	R1.6.8 イオンいわき 倉庫・会議室	いわき市 環境企画課	環境アドバイザーとして、新川の COD、透視度、臭いなどの水質項目を 13 人の子どもたちと一緒に調べました。